

明治六年四月ヨリ
六月ニ至ル
大藏省考課状

大藏省考課状

鑛山分拆ノ部

明治六年四月ヨリ
六月ニ至ル

目次

第壹號

秋田縣ヨリ岡田平藏外二人鑛山請負ノ申請
ニヨリ申白

第貳號

東京府ヨリ福録芳隆石炭油防火氣製法ノ稟
候

第參號

大藏省

大藏省

豊岡縣ヨリ舊生野縣下鑛山稼人へ手當金文
付ノ稟候

第四號

岐阜縣ヨリ鑛山掛ノ増給料ノ稟候

第五號

廣嶋縣ヨリ銅山業ノ裁ニ付稟候

第六號

秋田縣ヨリ田平藏等院内銀山請負ノ裁ニ
付稟候

第七號

秋田縣ヨリ尾去澤鑛夫逃走ノ報告

第八號

田平藏ヨリ銅鉦代價上納ノ申牒

第九號

秋田縣ヨリ銀銅地拂ノ稟候

第十號

白川縣ヨリ阿蘇山硫黃請負ノ稟候

第十一號

長崎縣ヨリ入来屋重平白銅製造及ヒ白銅檢
査ノ稟候

第拾貳號

岡田平藏ヨリ「エリエ」ル船免状下付ノ申請

第拾參號

岩橋萬藏ヨリ金銀分拆ノ申請

第拾四號

佐賀縣ヨリ石炭坑開業ノ俄ニ付稟候

第拾五號

廣島縣ヨリ鉄山請負ノ義稟候ニヨリ工部省
へ往復

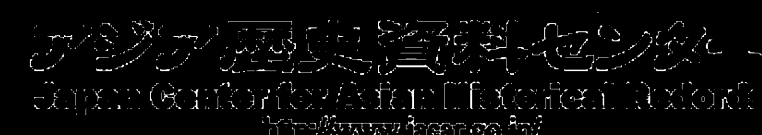
大藏省考課状

鑛山分拆ノ部

明治六年四月ヨリ
六月ニ至ル

第壹號

秋田縣ヨリ岡田平藏外二人當管下阿仁荒川川
口三所ノ銅山大山矢櫃山兩所ノ鉛山并ニ麻籠
山ナル銅吹分所ハ地經水利共便利ノ地ナルニ
由リ右五山へ附属シ共ニ請負稼方委任アラン
事ヲ允許セラレ同所ノ諸職場小屋器械及ヒ鑛
夫等マテ在来ノマ、引継アリタキト懇請セル
ニヨリ副書ヲ以テ工部省へ稟候セシニ付同



省へ商議アリ速ニ指揮ヲ請フト申白アリ是ニ
 於テ同省へ商議セシニ乃チ申請ノ如ク允許セ
 シ旨報知アリ因テ右鑛山ノ俄工部省ニ於テ許
 可アリシ上ハ鑛山閉涉ノ舊負債及ヒ納稅等詳
 細取調在来ノ諸職場小屋器械等固田平減へ引
 継ノ代金上納方共申白スヘシト指令セリ
四四日
 第貳號

東京府ヨリ貫屬士族福録芳隆ナル者「ランプ石
 炭油ノ火災ヲ慮リ日夜心思ヲ碎キ一種ノ方法
 ヲ發明シ石炭油溫度百四拾度ヲ極トシ其度ヲ

過サレハ火氣ノ移ル患ナキ由ヲ以テ一瓶ノ製
 油ヲ呈シ試験ノ上實效アラハ全國へ公布アラ
 ン事ヲ懇願セシニヨリ其知分ヲ稟候アリ因テ
 右製油ヲ文部省へ送致シ化學局へ屬シ試験セ
 シムルニ其言ノ如ク精良ナル由回答アリ又横
 濱税関ニ於テ石炭油ヲ試験スルニヨリ同人ヨ
 リ別ニ一瓶ヲ出サセ税関へ送致シ試験セシム
 ルニ是亦精良ノ由ヲ報セリ是ニ於テ同府ニ令
 シ同人ヨリ其製油方法ヲ出サシムルニ薪火灰
 水明礬石炭油ノ四種ヲ炭水ニテ烹取是ヲ石炭



油ニ和スルノ製法書ヲ呈出セリ因テ再ヒ文部
省へ全ク有益ノ効驗アラハ一般へ公布スヘキ
ニ付貴省ノ意見ヲ問フト方法書ヲ移シテ商議
ヒシニ石炭油防火氣製法ニ薪火灰明礬ヲ用ユ
レハランプノ心ニ汚滓ヲ遺シ頗ル不潔ノ患アリ
酸素ヲ十分ニ固有スル沙鉄錳等ヲ用ユルニ
シカスト化學教師ノ意見書ヲ添テ回答アリ因
テ其意見書ヲ横濱税関へ送致シ篤ト照會スヘ
キ旨ヲ達セリ
四月十日

第叁號

豊岡縣ヨリ舊生野縣ニ於テ管下銀山稼入足立
太左衛門ハ代々銀山ニ私費ヲ以テ鑛道普請等
ヲ尽力セシニヨリ手當トシテ金千圓外ニ稼入
四十人へ四百四十圓下付セシ事ヲ曩ニ稟候ス
レ氏今ニ指揮ヲ得ス右ハ同縣創業ノ際舊知事
拜借金ノ内ヲ以テ既ニ下付シ置キ即今出納寮ヨ
リ返納ノ督促アルニ付至急指令ヲ請フト稟候
アリ是ニ於テ專断ヲ以テ返納金ヨリ下付セシ
事舊官員ノ所置不條理ナリト雖氏既往ノ事々
ルニヨリ金千四百四十圓下付スヘキニ付拜借

未納金五千圓ノ内ニテ返納ノ心得納渡共證書
ヲ以テ取計フヘシト指令セリ
四月十日

第四號

岐阜縣ヨリ管下美濃國郡上郡畑佐村鑛山ノ事
同國各務郡茨見村篠田三郎兵衛ナル者へ請負
ヲ命シ山税ハ荒銅出高拾分ノ一ヲ上納セシ事
ヲ辛未十一月申舊郡上縣ヨリ稟候セシニ縣廳
ニ於テ嚴重取締出鑛高審細點檢スヘキ旨指令
ニ付同縣貫屬ノ者二人へ鑛山掛ヲ命シ年給二
拾圓宛ヲ給ミ取締致サセシヲ新縣後モ舊貫ノ

通所分セシニ薄給ニテ勤方困却ノ趣懇願セル
ヲ以テ向後三拾六圓宛給付セン事ヲ請ヘリ因
テ鑛山一ヶ年出鑛高ヲ取調ヘシニ壬申一ヶ年
出鑛荒銅四千六百貫目ニシテ拾分一上納ノ分
代金四百六拾圓一圓ニ付荒銅一貫目替ナル由ヲ報告アリ此
ニ於テ鑛山掛増給料候スル所ヲ聴取セリ但以
後取締方嚴重注意スヘキ旨指令セリ
四月廿八日

第五號

廣嶋縣ヨリ管下銅山業ノ儀従前持越ノ有金品
物ヲ共儘下付アリ此ヲ基礎トナシ見込ノ箇所



再興スヘキノ裁向トニ稟候ヲ經テ急速開業ス
ヘキノ所別ニ意見アツテ去壬申三月中見込ヲ
建議シ指令ヲ待ノ際生野出張鑛山寮ヨリ雇外
國人點檢ノ為メ出張アルヘキニ事故アツテ延
引セリ故ニ去年ハ有合ノ品物ヲ精製スルノミ
ニテ休山ノ場所ハ番人職工ノ給料等多分ノ失
費アリ然レモ向キニ建議ノ通聴取アラシキ事ヲ
請フト勘定帳ヲ副テ稟候アリ因テ向キニ建議
ノ趣モアレモ鑛山ノ儀ハ官ノ取扱ニ歸セス人
民請負ノ見込ヲ立ツヘキ旨指令セシニ又別紙

勘定差引書ヲ以テ實地ノ情状ヲ洞察アツテ聴
取アラシキ事ヲ請ト再稟アリ乃チ候スル所聴取
スト指令セリ四月廿九日

第六號

秋田縣ヨリ岡田平藏等院内銀山請負ノ裁右山
ニ関涉ノ負債及ヒ諸器械等マテ引請稼方ヲ申
請セル旨稟候アルニ由リ工部省へ右山官ニ於
テ去ル壬申正月以來試験入費トシテ己ニ金三
萬圓ヲ支給シ猶同縣租税内ヨリ兌換セシ米金
ヒ多分アレモ今ニ其利益ヲ見ス故ニ縣官候ス



ル所ノ如ク聴許シ然ルヘシト商議セシニ主願
ノ者出省指揮ヲ受ク可キ旨ノ回答アリ因テ右
ハ至急ノ事件故外ニ支障ノ虞ナケレハ直ニ聴
許アリタシト再議セシニ同省亦異議ナキ趣且
追テ本人願書ハ坑元縣廳ヲ經テ同省ヘ差出ス
可キ達シアリタシト回答アリ此ニ於テ銀山請
負ハ許可スルニ由リ諸器械代價及ヒ從來ノ諸
入費並出鑛高トヨ差引キ巨細簿冊ヲ以テ進達
ス可シト同縣ヘ令セシニ試験入費出鑛高ノ差
別ハ曾テ送致スル所ノ出鑛金銀相場書下付ア

ラスンハ取調難タキ旨再候アリ乃チ出鑛金銀
ハ品位分拆ノ上達ス可キニヨリ眼前ノ器械建
屋等ノ代價取調進達スヘシト指令セリ
五月
六日

第七號

秋田縣ヨリ管下尾去澤銅山鑛夫四拾八人私意
ヲ以テ騷擾シ大館市中マテ逃走セシヲ同所出
張所捕亡吏ニテ取調花輪町戸長澤出善左衛門
へ副書ヲ以テ送致セシニ付急速代人差出シ夫
々處分セシ旨岡田平藏ヨリ申出シトノ報告ア

五月十日
三日

第八號

岡田平藏ヨリ秋田縣拂下銅鉛代價上納セン事
ヲ申牒セリ乃チ金七萬二千五百四圓四拾七錢
五厘出納察へ上納スヘシト指令セリ
廿五月

第九號

秋田縣ヨリ管下ニ於テ銀銅細工ヲ業トスル者
舊藩中ヨリ地拂ノ銀銅ヲ以テ營業セシニ去壬
申十月中地拂廢止以後在來ノ古銀銅ヲ以テ取
續キシカ今日ニ至リ拂底營業ニ差支困却ノ趣
屢懇願セリ故ニ地方相當ノ相場ヲ以テ管内一

ケ年出産ノ精銀百分ノ一大凡五貫目小丸銅十
四分ノ一五百箇ヲ拂下ケン事ヲ稟候アリ乃チ
候スル所止ヲ得サル事情ニ付凡積高ヲ限り拂
下ヲ許可スルニヨリ現實地拂高ニ請取證書ヲ
副シ精細勘定帳ヲ以テ申牒スヘシト指令セリ
六月
二日

第十號

白川縣ヨリ管下阿蘇山硫黄請負ノ事ヲ増田遊
船外二名ヨリ申請セシニ由リ許可アリタシト
稟候アリ此ニ於テ硫黄鑿方請負ノ裁ハ工部

省へ稟問シ同省許可アラハ更ニ税則ノ裁當省
へ稟候スヘシト指令セリ三六日

第拾壹號

長崎縣ヨリ管下長崎町入来屋重平白銅製造ノ
裁ヲ懇願セリ右ハ當三月中辻野長次郎等ノ處
分ニ照準シ規則ノ趣ヲ達シ願意ヲ聴取シ又辻
野長次郎入来屋重平兩人製造ノ白銅合拾八貫
七百四拾三文目四月中検査セシ旨稟報アリ六月

日六

第拾貳號

岡田平藏ヨリ秋田縣拂下銅鉛運輸ノ為ノ羽後
國船川港へ太平海飛脚蒸氣船正リ正ル號雇入
シニヨリ右船免状ヲ下付セシニ既ニ歸着ニ付
免状ヲ返納シ再ヒ同船ヲ以テ同所ヨリ運漕ナ
シタキニ付更ニ免状下付アラシ奉ヲ請フトノ
懇願アリ因テ正院へ上陳シ又外務省へ先般ノ
免状ハ返却シ更ニ右船免状下付ノ裁ヲ正院へ
上陳スルニヨリ下命アラハ急速送致アリタシ
ト高議セシニ即チ同省ヨリ免状送致セシニヨ
リ同人へ下付セリ七六日

免状

大藏省

第拾叁號

東京分拆所岩橋萬藏ヨリ向キニ金銀分拆ヲ命
セラレシヲ蓄械損缺アリテ休業セシニ此節修
復成就シ日々分拆ヲ行ニ由リ地金下付アラシ
事ヲ申請セリ乃チ右地金領取方ハ出納寮へ申
牒スヘシト指令セリ
六月廿日

第拾四號

佐賀縣ヨリ管下木須村石炭坑去ル庚午二月ヨ
リ外國壙山師モリリス雇入開業セシニ出炭セ
ズ遂ニ石戸ニ掘當テ成業ニ至リ難ク殆ト困苦

ノ際新置縣ノ沿革ニヨリ官費ノ支障等ニテ暫
時休業シ其趣モリリスへ談判セシニ種々苦情
ヲ陳述シ剋へ破約ヲ口實トシテ償金ヲ望モ計
リ難ク然リト雖他日成功目途ナキニ資力ヲ
費ス事良策ニアラス如何處分シ然ルヘキヤ且
此迄ノ處置一々申牒スヘキノ所主任ノ者當縣
權大屬東島寛徴ノ疎漏ヨリ其裁ニ及ハサルハ
恐懼ニ堪ヘス因テ當人待罪書ヲ呈セリ右ノ處
分至急指揮アリタシトノ稟候アリ是ニ於テ開
坑ノ手續キ雇入條約書及ヒ休業後モリリスへ

第拾五號

第拾六號

談判向等詳細調書ヲ以テ再候スヘク且主任ノ
者待罪ノ裁ハ其縣ニ於テ處分アルヘシト指令

セリ六月廿七日

第拾五號

廣嶋縣ヨリ管下諸鉄山從來開坑スト雖氏仕入
金總ニ貳萬圓位ニテ十分出鑛ニモ至ラサルノ
際此田大坂長堀南町津田達藏ナル者稼方請負
ノ裁ノ申請セルニ舟同人身元ヲ視檢スルニ相
應ノ者タルニヨリ稼方ヲ委任セシ事ヲ稟候ヒ
リ因テ工部省へ意見ヲ問議セシニ鉄山請負ノ

平常省へ出願ス可キヤウ本人へ達シアリタシ
但仕入金先ニ諸器械代價等ノ處分ハ貴省ヨリ
同縣へ指令アルヘシトノ回答アリ此ニ由テ同
縣へ此趣ヲ指令セシニヨリ工部省へ稟候セリ
ト雖氏今ニ何令ノ指令ナキハ即今吉井鑛山權
頭巡回中ナレハ同人歸京後ナラスンハ決議ナ
ラサルヘシ然ラハ目前數ヶ所ノ鑛山休業ニテ
數多ノ鑛工糊口ニ苦ムニヨリ至急前條許可ヲ
ル歟然ラスンハ拾萬圓ノ資本金下付アル歟急
速決議アリタシト稟候ナリ因テ又候スル所至

請負

鐵山

急同縣へ指令アリタシト工部省へ再議セシ後
吉井鑛山權頭歸京シ右鑛山多分ノ利益アル見
込ニ付官山ト定ムヘキ旨同縣へ指令セリトノ
回答アリ此ニ於テ右官山決定ノ事ハ當省ニ於
テ異見ナシト雖凡以徃出鑛高及ヒ經費高トノ
見込詳悉申送アリシ上重テ協議ニ及フヘク且
從來當省ヨリ下付セシ米金等モ比較ノ中へ算
入アリタキ旨申送ヒリ
五月廿六日

大藏省考課状

貨幣蓄積ノ部

明治六年四月
六月二至ル

目次

第一號

筑摩縣ヨリ古錢堀出ノ儀ニ付申牒

第二號

福鳶縣ヨリ旧白河縣引送租税米金ノ内悪金
上納ノ申牒

第三號

小倉縣ヨリ旧藩札ヲ以テ上納金ニ充ルノ稟